



▲外観全景

【設計のねらい】

本施設は山陽小野田市埴生地区に位置し、昭和56年に建設された旧埴生出張所の老朽化や耐震性等の問題を解決し、火災や救急活動の能力向上のために建替えられた消防署です。

埴生地区は1940年代に無煙炭産出地として炭鉱により栄えた地域であり、また隣接地の糸根地区公園内にあるクロマツ巨樹群は“糸根の松原”（市指定文化財）として古くから地域の人々に守り続けられた歴史があることから、建物外観には石炭を思わせる黒石調の仕上げや、杉板調のRC打放し仕上を施し、シンプルで周囲に調和しやすく、親しみのある施設を目指しました。

建物の正面（車庫出入口）は前面道路に正対させ、緊急車両がスムーズに出動できるように車庫前に十分な旋回スペースを確保するとともに、来庁者・職員駐車場も敷地内に配置した計画としています。また、敷地内には、建物のほかに訓練スペースや訓練用消防水槽、ホース乾燥塔などを設置し、日々の訓練や資機材のメンテナンスが容易に行えるように整備しています。

平面計画においては、事務室や仮眠室等から

車庫までの経路をワンウェイ動線となるように各室を配置し、消防活動エリアと一般来庁者エリアを区分けして緊急出動や執務に影響が出ないよう計画しました。また、24時間稼働する施設であることから、職員の働きやすい執務環境、プライバシー確保にも十分配慮した施設づくりをおこないました。

【建築概要】

建築主 山陽小野田市

基本・実施設計 (株)藤田建築設計事務所

監理 (株)翔設計

施工者 建築・機械設備工事：嶋田工業・ヘキムラ興業特定工事共同企業体

電気設備工事：(株)幸伸電気設備工事

工事場所 山陽小野田市大字埴生3229番地の3

主要用途 消防署

構造 鉄筋コンクリート造 平屋建て

敷地面積 2,135m²

建築面積 597m²

延床面積 547m²

工期 2023年9月27日から2025年3月31日



▲事務室



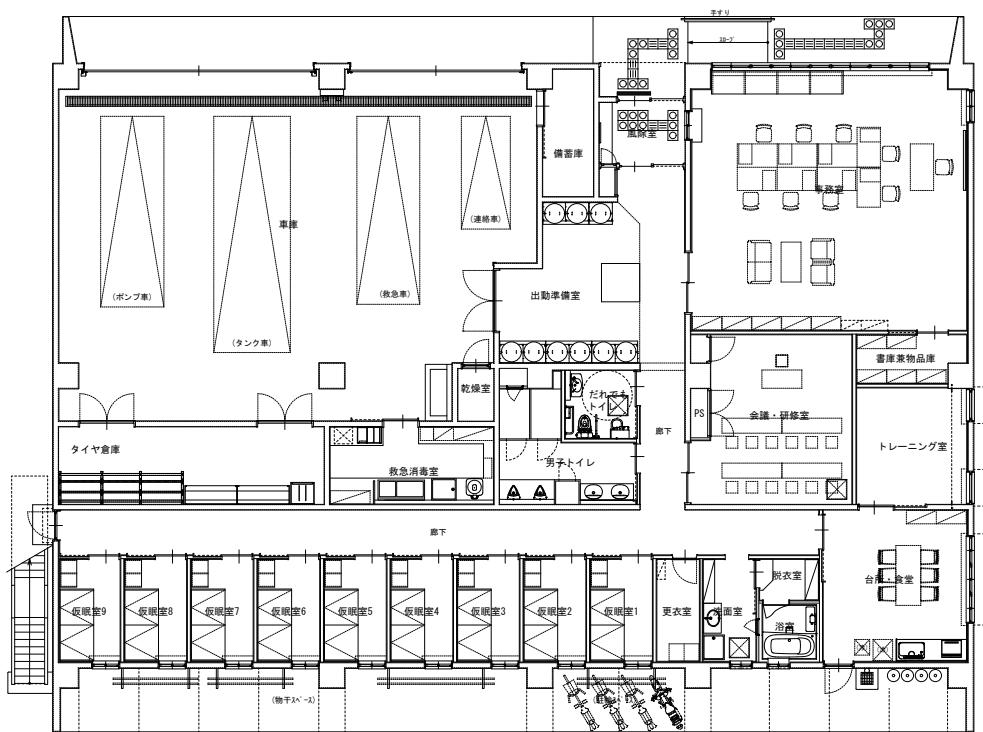
▲トレーニング室



▲出動準備室



▲仮眠室



▲平面図